

施設のゴミ出しについて

とっとりバイオフロンティア 2022.8.19

とっとりバイオフロンティア施設内より出されるゴミ（廃棄物）につきまして、以下のように分類・分別をして所定の場所へ出していただきますようお願い致します。

◆実験室から出たゴミについて

ゴミの種類	内 容	廃棄場所
可燃ごみ	燃やせるごみ。	「可燃ごみ」
不燃ごみ	実験室から出たごみ。オートクレーブ済のピペット・ディッシュ等。（細胞等の付着していないもの。）	「不燃ごみ」
要滅菌廃棄物	細胞・大腸菌等が付着したピペット・ディッシュ等。 ※オートクレーブ滅菌を行いますので、必ず分別して下さい。	「要滅菌廃棄物」
セルアナライザ専用廃棄物	血液等から抽出したサンプルの付着したセルアナライザ分析に使用したチューブ等。	「セルアナライザ専用廃棄物」
発泡スチロール	発砲スチロール	推進室にお問い合わせ下さい。
ガラスくず	空の試薬瓶等。 ※ガロン瓶・500ml以上のガラス瓶を廃棄される場合は推進室にお問い合わせください。 （ラベルはできるだけ剥がして下さい。瓶は洗浄し、廃液は廃液タンク等に分別して廃棄下さい。）	※割れたガラス等は「感染性廃棄物（ペール缶）」へ入れて下さい。
エチジウムブロマイド廃液	泳動などに使用したエチジウムブロマイド廃液。	「エチジウムブロマイド廃液」タンク（遺伝子実験室奥の流し下。）
大腸菌廃液（ハロゲン等を含まないもの）	大腸菌を含む廃液。フェノール、ハロゲン等を含まないもの。 廃液を排出した方が滅菌処理を行い、適正に処理してください。 （例）オートクレーブ滅菌（121℃、20分）	各自処理
大腸菌用廃液（ハロゲン等を含有する物）	大腸菌を含む廃液。ハロゲン等を使用し抽出した廃液等。フェノール、ハロゲンを含有するもの。	滅菌処理後、「ハロゲン廃液」タンクに回収
廃油	ハロゲン・フェノール含有廃液	「ハロゲン廃液」タンク
有機廃液	可燃性廃液	「有機廃液（可燃性廃液）」タンク
有機廃液	難燃性廃液	「有機廃液（難燃性廃液）」タンク
感染性廃棄物（段ボール）	血液等の付着しているもの。 （注射針やガラスなど先が鋭利なものを除く）	「感染性廃棄物（段ボール）」
感染性廃棄物（ペール缶）	血液等の付着しているもので、 （注射針やガラスなど先が鋭利なもの。）	「感染性廃棄物（ペール缶）」

※実験廃液等につきましては、現在記載の種類（ハロゲン・有機廃液（可燃性・難燃性））のみ契約しております。 **上記以外の廃液は実験者の方で関係法令に従い、適切に処理してください。**

その他ご不明な点等ございましたら、推進室までお問合せください。ご協力よろしくお願い致します。

要滅菌廃棄物の分類と処理について

< 分別・処理にご協力をお願いします。 >

バイオフロンティア推進室

ゴミの種類	内 容	処理する人
<p>細胞・大腸菌等が付着したピペット・ディッシュ等。</p> <p>-----</p> <p>・廃液は除いてください。</p> <p>・細胞等が付着していない培地ボトル等は、液体を除いた後「不燃ごみ」に出してください。</p>	<p>【実験中（実験者）】 実験室内の指定のゴミ袋に入れてください。</p> <p>【実験終了後（推進室スタッフ）】 ゴミを回収後、オートクレーブ滅菌処理を実施。実験系不燃ごみとして排出します。</p> <div data-bbox="587 629 866 913" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1002 667 1150 904" data-label="Image"> </div> <p>(例) オートクレーブ用廃棄バッグ</p>	<p>推進室スタッフ</p>
<p>不活化処理の必要な感染性廃棄物（ウイルス実験等で使用したピペット・ディッシュ等。）</p>	<p>【実験中】 バイオハザード表示のある廃棄袋等、他者に危険性のわかる容器等に入れ、分別すること。</p> <p>【実験終了後】 直ちに不活化処理を実施し、拡散防止に努めること。オートクレーブシール等、不活化終了が確認できるようにすること。</p> <div data-bbox="587 1352 895 1630" data-label="Image"> </div> <p>(例) バイオハザードマーク付オートクレーブバッグ</p>	<p>実験者</p> <p>※実験開始から不活化処理までを責任を持って実施していただくようお願いします。</p>